

九州・大分ほっとステーションまちづくり

“はじめに”

九州の主な交通手段は自動車であり、福岡博多天神・北九州といった鉄道や地下鉄が張り巡らされた都心を除いて、そこから遠く離れた地方都市では仕事し生活していく上で必要不可欠な存在です。その為に国道沿いや郊外に出来た大規模なショッピングモールが人を集めています。その反面で鉄道やバス等の公共機関のある駅周辺の百貨店や商店街が寂れているのが最近は特に目につきます。今後、高齢化社会が進む中で医師や介護者、介護施設の不足が問題となっている中で、生活上必要な店や施設といった“まちの機能”が郊外化していくことはそれらの問題をより深刻なものとするでしょう。そこで駅や駅周辺の百貨店・商店街を中心とした再生案・イベントを企画する事によってそこに住む人にとっても訪れる人にとっても“よりよいまちづくり”を考えていきます。

“より身近な役所を目指して”

役所出張所として駅構内や駅周辺の建物内に一部機能を分けて設置しよう。

これによって住民・役所関係者が駅周辺を利用する機会が増え、役所がぐっと身近なものになるはず。

対象として考えられるのは駅と役所が離れている大分市や長崎市・久留米市といった地方都市だ。

最近“地方百貨店の売上高減少や撤退”が報道でよく取り上げられている。

大分市は来年に駅前パルコの閉店が決まり問題視されているが、JR大分駅は高架化に伴って駅・駅前広場の大規模な改修工事が長く行われており今後周辺施設と駅のアクセス向上が期待できる。

そこで、駅前の百貨店内に一部フロアを自治体でかりて、役所出張所として設置しよう。

駅前という立地に加えて、もともとバリアフリー化やエレベーターの設置がされているので誰にとっても利用しやすいに違いない。

利用者に高い利便性を提供でき、百貨店経営側にとっても落ち込んだ客足の増加が期待できるはず。

また、平日が忙しくて朝や休日に市政サービスを手早く利用したいという人は多い。そこで通勤時を利用してサービスを受けられるよう窓口の受付時間を工夫すると良いかもしれない(図-1)。

これによって百貨店の売上低迷を救い、駅前の更なる活性化にも繋げることができるのではないだろうか。これらを設置する際には、決して費用をかければ良いというものではなく、商工会や住民にボランティア・アイデアを募り、安価でも駅や役所出張所に地域の特色を生かした名産、歴史、伝統、文化を取り入れた創意工夫のある控え目ながらもカラーのある愛着の湧くものとしよう。

また、これならば十分なスペースに期待できるために百貨店と共有して他のフロアに、催しのためのフリースペース、セミナー教室を設けることによって、様々な利用を提案・企画することができるのではないかと(図-2)。

**市民サービスセンター
窓口**

火曜～日曜
午前8時45分～午後5時30分

住民票などの証明

税の証明

転出・転出届

いろいろな相談 NPOや商工会との連携・市民相談

観光案内・特産品ご案内

図-1



参照 [Google マップ](http://maps.google.co.jp) <http://maps.google.co.jp>

図-0：大分市の現状

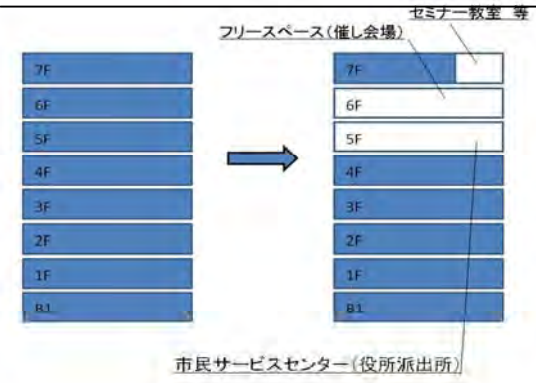


図-2

県内の市町村のアンテナショップを出店するのもいいかもしれない。これをきっかけとして、鉄道を利用することによって周辺の市町村の人々の交流がより深くなるよう連携していろいろな企画を考えてゆこう。

住民の人たちにとっては、

身近な市政サービス窓口
 語学や料理・スポーツ・趣味などのセミナー教室
 オープンスペースを利用した NPO 法人や企業の開催するイベントへの参加を目的として利用できる。

駅を利用して来る人たちにとっては、

観光のための手がかりとしての案内所
 オープンペースやセミナー教室を利用して行う文化や伝統を体験する為のイベントへの参加
 周辺の市町村との地域交流を図るイベントへの参加を目的として利用できる

ほかにも多岐多様な利用法が考えられ、よりよい街づくりに役立ていけるはずだ。

“限りなく続く、よりよいまちづくりのかたちを目指して”

大学が住民・地域企業・NPO と幅広く連携できる交流の場をつくろう。

これによって大学や各学部の研究室・学生・サークルの取り組んでいる事柄や提案する企画などの情報を得ることができ、そこを窓口としてアイデアや意見交換ができれば、そこに住む人や携わる誰もが“よりよいまちづくり”を考えていけるはず。

例えば・大学や各学部・学会・サークル等で発行されている雑誌やポスター
・NPO や地元商工会の発行する雑誌やポスターやイベント企画 等

役所と連携して指摘やサポートしやすい場にするによって、より具体的に身近に様々なことを話し合うことができると思います

社会人のための朝だけの“大学講座”

朝早く起きて、会社に行く前に勉強やスポーツに時間を取るという社会人は多いはず。

そのため、セミナー教室やフリースペースを利用して、自己啓発や仕事に役立つような関心の高い事柄や話題を学べるように、大学やNPO・企業から講師を招いて早朝講座を定期的を開いたらどうだろう。

